



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月12日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3961 URL <https://www.silveregg.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) フォーリー 淳子 TEL 06 (6386) 1931  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	929	△2.2	69	△20.8	69	△20.0	44	△26.7
2023年12月期第3四半期	949	—	87	—	87	—	60	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	14.84	14.82
2023年12月期第3四半期	20.24	20.21

(注) 2022年12月期は連結業績を開示しておりましたが、連結子会社Silver Egg Technology Asia Limitedの重要性が乏しくなったことから、連結の範囲より除外し、2023年12月期第1四半期会計期間より非連結決算に移行いたしました。そのため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,508	1,426	94.3
2023年12月期	1,505	1,377	91.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,421百万円 2023年12月期 1,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	3.4	100	4.3	100	4.7	69	17.4	23.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	2,966,942株	2023年12月期	2,966,942株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	85株	2023年12月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	2,966,867株	2023年12月期3Q	2,966,900株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、「AIクラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ユーザー行動情報を分析して「いま」求められる情報を届ける、独自のAIマーケティング・サービスの開発及び提供を行っております。当社が提供する主力サービス「アイジェント (Aigent)」は、レコメンド市場において41%のシェアを占めております。

当社が属する国内の情報通信サービス市場においては、企業が収集するあらゆるデジタルデータを活用した業務効率化、サステナビリティ経営の実現に向けたIT環境整備とシステム更新需要が依然として高まっております。また、エンドユーザーとの接点強化など、企業成長と競争力強化を目的とするクラウドサービスや、生成AI、マシン・ラーニング(機械学習)、ディープ・ラーニング(深層学習)などのテクノロジーに対するIT投資が堅調に推移しております。

国内SaaS市場は高い成長率を維持しており、DX市場は2030年度に8兆350億円(2023年度見込比4兆153億円増)(注1)、国内SaaS市場は2027年度に2兆990億円(2023年度見込比6,862億円増)(注2)の規模に達すると予想されており、当社が事業を展開している国内のEC市場規模拡大も継続しております。このような環境下において、AIクラウド型サービスのリーディングカンパニーとして当社が果たすべき役割は、重要性を増しています。

このような環境のもとで当社は2024年度を事業拡大期と位置づけ、事業の収益構造の変革を事業目標に掲げております。当社のAI技術を軸に、既存事業の進化と新しい領域において事業の展開を行い、二つの事業を両輪とした今後の力強い事業成長の足掛かりの実現に向けて、企業活動を行っております。

既存事業の進化においては、AIマーケティング・プラットフォーム化の強力な推進と、新アルゴリズムを搭載した新たなレコメンドサービスの開発に注力しており、当会計期間に『アイジェント・レコメンド』の機能強化サービスである『V-レコ』をリリースいたしました。『V-レコ』は、企業の持つ商品画像データを、大規模言語モデル(LLM)を用いてインターネットから収集し学習した膨大な画像・テキスト情報をもとに解析し、サイト上でユーザーが見ている商品に似た商品をレコメンドします。従来のレコメンドエンジンの課題であったコールドスタート問題を緩和し、新商品やロングテール商品のレコメンドをより効果的に行うことが可能になり、導入した顧客企業の売上向上に直結します。

新しい領域の事業においては、LLMを活用した新たなAI開発プロジェクトを推進しております。企業が持続的な事業成長や競争力強化を図るには、人材採用の成功が重要ですが、現状の人材市場は売り手市場になっており、各企業では自社に適した人材の確保が課題となっております。

この課題を解決するべく、当社はAI技術を応用したサービス開発力と当社の採用活動で蓄積した知見やデータを用いて、人材発掘SaaSソリューションを開発しており、年度内にβ版のリリースを予定しています。本サービスは当社が戦略的に推進しているAIを活用した新領域サービスの第1弾であり、AIの利活用により生産性向上のためのサービスやプロダクトを提供し、社会課題の解決を目指します。

当第3四半期累計期間の営業収益につきましては929,359千円(前年同期比2.2%減)、営業利益は69,511千円(前年同期比20.8%減)、経常利益は69,937千円(前年同期比20.0%減)、四半期純利益は44,030千円(前年同期比26.7%減)となりました。

なお、当社は、レコメンドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

- (注) 1. 「2024デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編/企業編」富士カメラ総研刊行  
2. 「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」富士カメラ総研

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3,240千円増加し、1,508,542千円となりました。主な内訳は、前払費用の減少12,460千円、未収還付法人税等の減少36,224千円及び無形固定資産の減少18,443千円があった一方で、現金及び預金の増加76,739千円があったこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ45,408千円減少し、81,917千円となりました。主な内訳は、未払金の減少43,274千円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ48,648千円増加し、1,426,625千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加44,030千円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,096,784	1,173,523
売掛金	190,036	178,947
前払費用	50,195	37,735
未収還付法人税等	36,224	—
その他	589	105
貸倒引当金	△199	△187
流動資産合計	1,373,631	1,390,124
固定資産		
有形固定資産	19,107	16,718
無形固定資産	61,607	43,163
投資その他の資産		
その他	51,604	58,536
貸倒引当金	△648	—
投資その他の資産合計	50,955	58,536
固定資産合計	131,670	118,418
資産合計	1,505,302	1,508,542
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	87,419	44,144
未払費用	8,306	4,467
未払法人税等	—	14,927
未払消費税等	14,017	9,185
賞与引当金	8,516	—
その他	9,065	9,191
流動負債合計	127,325	81,917
負債合計	127,325	81,917
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,272	285,272
資本剰余金	270,035	270,035
利益剰余金	822,802	866,832
自己株式	△134	△193
株主資本合計	1,377,976	1,421,946
新株予約権	—	4,678
純資産合計	1,377,976	1,426,625
負債純資産合計	1,505,302	1,508,542

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	949,952	929,359
営業費用	862,188	859,848
営業利益	87,764	69,511
営業外収益		
受取利息	6	84
講演料等収入	—	100
還付加算金	1	207
その他	—	67
営業外収益合計	7	459
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	298	—
為替差損	—	33
営業外費用合計	298	33
経常利益	87,474	69,937
税引前四半期純利益	87,474	69,937
法人税、住民税及び事業税	533	11,858
法人税等調整額	26,881	14,049
法人税等合計	27,415	25,907
四半期純利益	60,058	44,030

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	22,178千円	20,833千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。